

令和2年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33010
学校名：札幌市立元町中学校

プログラム改訂のポイント		◎「できる」を実感し、充実感を味わい、日常的に運動する機会の増加と健康・体力の向上を図る。 ◎正しい知識の習得と基本的な生活習慣の改善に重点を置き、個に応じた運動能力の向上を図る。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら進んで楽しく取り組みながら日常的に運動する子ども。 ☆運動技能の向上のために継続的・計画的に自ら進んで取り組むことのできる子ども。		
「健やかな体」の育成に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○運動の「できる」を実感する指導の充実。(スモールステップの個別の目標設定、ICTの活用) ○運動の習慣化。(最重点)(運動意欲向上のための掲示、運動習慣化の工夫の継続・増加) ○個人の目標とする技能の習得に向けて、少人数指導の積極的導入。	【成果】 ⇒ICT機器の導入により生徒の運動意欲の向上、集中力の維持などの成果がみられた。 ⇒休み時間に運動を行う生徒が多かった。部活動を通して運動に親しむ生徒が多かった。 ⇒個人の技能のレベルに応じたアプローチをすることができた。	【課題】 □一昨年前のような、より運動を習慣化させる取組の充実。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○正しい知識を学び、自らの健康や安全について考え行動できるよう成長段階に合わせた指導の充実を図る。 ○日常的な食と健康(衛生など)と安全を意識するPDCAサイクルを生活習慣に取り入れる指導。 ○個に応じた相談活動の充実。	【成果】 ⇒保健授業での学習や外部講師による講演の充実を図り、生活習慣の改善に生かすことができた。 ⇒給食だよりや保健だより、食育放送の充実により、生活習慣に対する意識の向上がみられた ⇒担任のみならず養護教諭、栄養教諭、SCなどが関わり、組織的な対応ができた。	【課題】 □自らの健康への関心を高める工夫と、生活習慣の改善に向けた具体的な取組の充実。
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	A 運動意欲の向上を第一に考え、運動機会の確保と運動の習慣化を図る。		
	A 体育に関する指導の充実	○運動の「できる」を実感する指導の充実。(スモールステップの個別の目標設定、ICTの活用) ○ <u>運動の習慣化。(最重点)(運動意欲向上のための掲示、運動習慣化の工夫の増加)</u> ○個人の目標とする技能の習得に向けて、少人数指導を取り入れていく。		
	B 健康に関する指導の充実	○正しい知識を学び、自らの健康や安全について考え行動できる(ヘルスプロモーション)よう成長段階に合わせた指導の充実を図る。 ○社会の情勢にも目を向け、健康について考える機会の充実。 ○個に応じた相談活動の充実。		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用。(日常の実技テストや観察等) ○学校独自の調査結果(体力テストの独自分析)等を活用。 ○生徒アンケートや保護者アンケート(学校評価)の活用。 ○学校関係者評価の活用。		